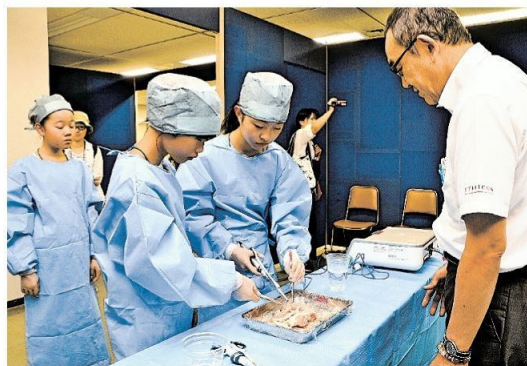


医療、福祉の仕事体験

川崎医大で子ども教室

子どもたちに医療・福祉への関心を高めてもらうべく、川崎医科大学（倉敷市松島）は18日、同大現代医学教育博物館などで「夏の子も体験教室」を開き、小中学生が実際の医療器具を使って手術などを模擬体験した。



で用いる医療器具を操作。モニターを見ながら内視鏡で輪ゴムを結んだり、超音波メスで鶏肉を切開したりし「難しい」と声を上げていた。

血圧測定や包帯の巻き方といった看護の基礎技術を学び、特殊なゴーグルを着けて身体超音波メスを使って鶏肉を切る参加者

機能が低下した高齢者の生活も体感した。岡山白陵中3年磯本いた。

羽希菜さん（15）は「外科医になるのが夢。実込者を対象に行われる際にオペで使う医療器具を。（鳥越謙一）」

た。
や看護師らが指導し
医科大付属病院の医師